

FAQ (スマートインターワーク)

Q-1 : どのような使い方ができますか？

外出先や自宅から職場の PC を安全にリモート操作することができれば、

- ・ 急ぎの用件を移動時間や時間帯を気にすることなく、その場で迅速に処理することが可能になります。インフルエンザで入社自粛の場合も安心して業務を継続できます。
- ・ クライアントの機密情報を、危険を冒して社外に持ち出す必要がなくなります。
- ・ 生徒の個人情報を校外に持ち出す危険を避けることができます。

職場のサーバにリモートデスクトップ接続でアクセスすることができれば、

- ・ どこに居ても、コストを掛けずに職場と同等の仕事環境で業務を遂行することができます。

シンクライアントシステムの端末として活用できれば、

- ・ Windows XP 対応 PC など汎用 PC の利活用でコスト削減が図れます。

Q-2 : ユーザの利用イメージはどのようになりますか？

ユーザはインターネットに接続可能な手元の PC に USB キーを挿すだけで、どこからでも職場の PC やシンクライアントサーバに接続してリモート操作することができます。PC にソフトウェアをインストールするなどの面倒な作業は一切ありません。アプリケーションは職場の PC やサーバ上で動作し、データは職場の PC やサーバにだけ存在しますので、情報漏えいのリスクが改善されるだけでなく、手元 PC にアプリケーションが無くても仕事ができます。このようなことから、手元 PC は私物でも借り物でも安心して使用することができ、急ぎの場面などでは大いに有用です。

Q-3 : どのような仕組みですか？

手元 PC (操作 PC) のキーボードやマウスを操作すると、その信号がインターネットを介して接続先 PC (被操作 PC) やサーバに送られます。アプリケーションが動作するのは接続先 PC やサーバであって、データも接続先 PC やサーバにだけ存在します。手元 PC では、処理結果として接続先 PC やサーバから返送される画面信号をディスプレイに表示します。このような仕組みなので、手元 PC にはアプリケーションを必要とせず、手元 PC からの情報漏えいを防ぐことができます。

Q-4 : 遠隔地の PC をリモート操作することができますか？

手元の Windows PC に USB キーを挿して起動することで、インターネット経由で、職場などの遠隔地にある PC を電源オンしてリモート操作することができます。職場 PC のシャットダウンもリモート操作できます。SmartInterwork の使用方法には、仮想モードとブートモードがあります。仮想モードでは、Windows をインストールした Mac PC も手元 PC として使用可能です。

Q-5 : 接続先 PC (被操作 PC) の電源をリモート操作でオン (WOL) できますか？

接続・認証サーバは WOL (Wake up on LAN) 機能を備えていますので、接続・認証サーバが設置されているセグメントと同一のセグメントに収容されている接続先 PC については、WOL のための専用付加装置が無くとも WOL が可能です。異なるセグメントに接続先 PC が収容されている場合は、当該セグメントに SmartInterwork 専用の WOL コントローラを設置することで WOL が可能になります。

Q-6 : ユーザに使用させるアプリケーションを制限することができますか？

日常運用はシステム管理者とデータ管理者が業務を分担して行います。データ管理者は、管理コンソールを用いて、ユーザに使用を許すアプリケーションを設定することができます。

Q-7 : Windows PC をシンククライアントシステムの端末として使用することができますか？

USB キーを挿すだけで、手元にある Windows PC を Windows Server や Citrix Server の端末として使用することができます。使用の可否は Windows Server や Citrix Server のバージョン、PC のハードウェア仕様などに依存しますので、ご希望の場合は、ご相談ください。

SmartInterwork では、LAN に直接に接続されたクライアント PC からだけでなく、遠隔地の PC からインターネットを介してシンククライアントサーバに接続して操作することも可能です。

Q-8 : Windows XP 対応 PC をシンククライアントとして活用することができますか？

手元 PC (操作 PC) の推奨仕様は Intel Pentium III 以上または完全互換の CPU を持つ DOS/V 互換機で、搭載メモリ容量は 768MB 以上です。Windows XP 対応の PC をシンククライアントに転用することで、シンククライアントシステムを経済的に構築することができます。

Q-9 : 手元 PC (操作 PC) へのソフトのインストールなど事前準備は必要ですか？

手元 PC へのソフトのインストールなど面倒な作業は一切不要です。Windows 動作中の PC に USB キーを挿すだけ、または PC に USB キーを挿して PC の電源をオンするだけで使用できます。手元 PC にはデータを書き込みませんので、私物や借り物の PC でも安心して使用できます。

Q-10 : 手元 PC (操作 PC) の起動はどのようにして行いますか？

SmartInterwork の起動方法には、仮想モードとブートモードがあります。ブートモードでは、USB キーに組込まれた専用 OS (Linux) からの起動になりますので、USB ブートまたは CD-ROM ブートが可能のように使用 PC の BIOS の設定 (起動デバイスの優先順位) が必要となる場合があります。仮想モードでは、Windows XP SP2 以降の OS で動作します。

Q-11 : 手元 PC (操作 PC) の起動にどれほどの時間がかかりますか？

使用する PC に依存しますが、おおむね十数秒から 30 秒ほどで起動します。

Q-12 : 接続先 PC (被操作 PC) にも操作画面が表示されるのですか？

手元 PC (操作 PC) の操作画面は、接続先 PC (被操作 PC) には画面表示されません。だから、接続先 PC の画面を他人に覗き見られる心配はありません。

Q-13 : 手元 PC (操作 PC) にデータ保存やコピー&ペーストは可能ですか？

アプリケーションは接続先の PC やサーバで動作し、データは接続先の PC やサーバにのみ存在します。手元 PC には、接続先の PC やサーバのデータを保存することも、コピー&ペーストも、スクリーンキャプチャもできません。

Q-14 : CAD ソフトや WEB オーサリングソフトの使用は可能ですか？

SmartInterwork の使用方法には仮想モードとブートモードがあります。ブートモードでは特にハイパフォーマンスで動作しますので、要求条件によっては使用可能です。ご相談ください。

Q-15 : 音声や動画は使用可能ですか？

音声や動画についても動作しますが、実用に適さないと思われます。

Q-16 : 手元 PC (操作 PC) に制約はありますか？

SmartInterwork の使用方法には仮想モードとブートモードがあります。仮想モードでは、Windows 動作中の PC に USB キーを挿すだけで使用できます。専用ソフトのインストールなど不要なので、手元 PC は私物でも借り物でも手軽に安心して使用できます。ブートモードは、PC に USB キーを挿してから電源オンすることで使用できます。ただし、PC の BIOS 設定 (起動デバイスの順位) が必要になる場合や、一部 PC で使用できない場合があります。ブートモードでの使用を希望される場合は、ご相談ください。

Q-17 : 手元 PC (操作 PC) として Mac PC やタブレット PC を使用できますか？

Mac PC 上で Windows が動作している環境では仮想モードで使用が可能です。一部の Mac PC についてはブートモードでも使用可能ですが動作は保障できません。タブレット PC には対応していません。

Q-18 : 接続先 PC (被操作 PC) に制約はありますか？

接続先 PC は、Windows PC で Remote Desktop Server 機能を備えている必要があります。Home Edition などでは使用できません。Windows XP SP3/Vista/7/8 で使用可能です。

Q-19 : 接続先サーバに制約はありますか？

接続先サーバは、Windows Server (MS RDS / Citrix Zen App など) で使用できます。サーバ接続を希望される場合は、ご相談ください。

Q-20 : インターネットを利用してセキュリティは大丈夫ですか？

SmartInterwork には VPN (Virtual Private Network 仮想専用線) 機能が備わっていてインターネット通信を暗号化しているので安心です。

Q-21 : 他人の成りすましによるアクセスを防ぐことができますか？

SmartInterwork は多要素認証を採用しています。接続のための認証は、USB キーに内蔵の個体番号 (ハードウェア固有の識別子) とユーザが入力する暗証番号の組み合わせを用いてを行います。接続認証時も、USB キーに内蔵の暗号デバイスで個体番号と暗証番号を暗号化して通信することで、インターネット上で秘密情報が盗み見られるリスクを避けています。認証完了後の PC やサーバへのログインは、ユーザ ID とパスワードのチェックをもって行います。さらに、必要に応じてワンタイムパスワードによる認証を追加することも可能です。

Q-22 : 使用中に USB キーが抜かれても大丈夫ですか？

SmartInterwork の使用方法には、仮想モードとブートモードがあります。仮想モードでは Windows に戻ります。ブートモードでは PC がシャットダウンされます。SmartInterwork を使用して再接続することで中断した処理を継続することができます。

Q-23 : USB キーにデータを保存することは出来るのですか？

USB キーにはデータを書き込むことが出来ない構造になっていますので、USB キーを媒介とした情報漏えいのリスクを回避することができます。

Q-24 : USB キー内に保存される情報はどのようなものですか？

ユーザが入力する認証サーバのアドレス情報のみが保存されます。認証のための暗証番号やユーザ ID、パスワードなどは保存されません。

Q-25 : USB キーを紛失したときの対処はどのようになりますか？

管理者が USB キーを「ロック」することで、当該 USB キーが無効になります。管理者によるロック解除で、当該 USB キーは再度使用可能になります。また、管理者が USB キーを「有効期限切れ」にすることで、当該 USB キーが無効になります。管理者による「有効期限」の再設定で、当該 USB キーは再度使用可能になります。管理者は管理コンソールへの WEB アクセスで、これらの操作を行うことができます。

Q-26 : 紛失した USB キーの不正利用を防ぐための機能は備わっていますか？

一定回数の暗証番号の入力ミスで USB キーが自動的にロックされます。管理者によるロック解除で、当該 USB キーは再度使用が可能になります。

Q-27 : USB キーをコピーされても大丈夫ですか？

USB キーにはハードウェア固有の個体番号が付与されているので、USB キーをコピーして使用しようとしても動作しません。

Q-28 : USB キーを分解されても大丈夫ですか？

USB キー内部には樹脂が全体に充填されているので、分解するとチップや配線が壊れてしまいます。

Q-29 : 無線 LAN は利用出来ますか？

SmartInterwork の使用方法には、仮想モードとブートモードがあります。仮想モードでは Windows で動作する無線 LAN を利用します。ブートモードは WEP、WPA/WPA2 に対応していますが使用する PC に依存しますのでご相談ください。

Q-30 : データ通信カードは利用出来ますか？

SmartInterwork の使用方法には、仮想モードとブートモードがあります。仮想モードでは Windows で動作するデータ通信カードを利用します。ブートモードでは DoCoMo などの一部機種には対応していますが使用する PC に依存しますのでご相談ください。

Q-31 : IT 専門技術者がいなくても日常の運用は可能ですか？

日常運用は管理コンソールを用いて行います。管理コンソールは直感的で分かりやすい GUI（グラフィカルユーザインタフェース）で提供されていますので、IT 専門技術者の知識を要することなく容易に日常運用が可能です。さらに、管理コンソールは WEB アプリケーションとして動作しますので、権限を持つ管理者は、WEB ブラウザーを用いて、どこからでも操作が可能です。

Q-32 : 管理者の業務はどのようなものですか？

SmartInterwork の管理・運用は、システム管理者とデータ管理者が役割を分担して行います。システム管理者の業務は、システム上の組織の作成、組織へのデータ管理者の割当、組織への USB キーの割当、ログ管理、データバックアップなどです。データ管理者の業務は、組織内のグループやユーザの作成、アプリケーションの作成とこれのグループやユーザへの割当、USB キーのユーザへの割当、USB キーの運用管理、ログの参照などです。情報システム部門がシステム管理者、総務や営業などの業務部門の長などがデータ管理者となる運用形態が想定されます。なお、管理者の業務は WEB ブラウザーと GUI を用いてどこからでも行うことができるので難しい IT 専門知識は必要としません。

Q-33 : スモールスタートしたいのですが？

最小規模のシステムは認証・管理サーバと USB キー 10 本で構成され、USB キーは 1 本単位で追加が可能です。さらに小規模な構成でのスタートを希望される場合は、ご相談ください。

Q-34 : スケールアップは既存資産を活かして経済的かつ簡単に行なえますか？

USB キーの追加だけでスケールアップが行なえます。システムのスケールアップに伴って、認証・管理サーバの性能が不足するような場合は、認証・管理サーバの増設やリプレースで対応が可能です。サーバソフトのライセンスは USB キーに付帯されていますので、サーバの増設やリプレースにあってもサーバライセンスの追加費用は生じません。また、内臓のロードバランス機能を有効に活用することで、信頼性を維持しつつ経済的なスケールアップが実現できます。

Q-35 : VPN サービス契約や VPN 装置は必要になりますか？

SmartInterwork には VPN 機能が備わっていますので不要です。VPN サービスを使用中の場合、状況によっては、これを撤去することもできますので経済的です。

Q-36 : グローバル固定 IP アドレスは必要になりますか？

接続・認証サーバを特定するためのグローバル固定 IP アドレスが必要です。グローバル固定 IP アドレスを取得不可能な場合は、ダイナミック DNS で代替することも可能です。このような場合は、ご相談ください。

Q-37 : DNS との連携は可能ですか？

ユーザ数が多い場合などでは、接続先 PC の特定を DNS との連携動作によって実現することで運用が容易になります。

Q-38 : 複数セグメントで構成されるイントラネットでも使用できますか？

接続先の PC やサーバは IP アドレスで特定しますので、複数セグメントで構成されるイントラネット環境でも使用できます。PC の WOL (Wake up on LAN) のためのパケットのブロードキャストが制限される場合などでは、SmartInterwork 専用の WOL コントローラを該当セグメントに設置することで WOL が可能になります。

Q-39 : 認証・管理サーバはネットワークのどの位置に設置しますか？

FW の内側、または DMZ に設置します。FW の通信ポートを SmartInterwork のための通信が認証・管理サーバにのみ到達するように設定します。

Q-40 : 認証・管理サーバを冗長構成とすることは可能ですか？

認証・管理サーバは接続認証機能と管理コンソール機能を提供します。認証機能と管理機能を1台のマシンに実装して冗長構成とすることも、認証機能と管理機能をそれぞれ異なるマシンに実装して構成することも、さらに、認証サーバと管理サーバをそれぞれ冗長構成とすることもできます。

Q-41： 認証・管理サーバの負荷分散は可能ですか？

USB キーに特定の認証・管理サーバのアドレスを分散して設定することで、ロードバランサーなどの設置を要せずにトランザクションを分散することができます。なお、USB キーには複数のアドレスを接続優先順位をつけて設定することが可能で、優先接続先への接続に失敗したときは、次優先接続先への接続を自動的に試みます。

Q-42： 認証・管理サーバは専用マシンですか？

認証・管理サーバは専用アプライアンスとして提供します。お客様ご指定のマシンに実装したい場合はご相談ください。認証・管理サーバ用 OS は、Red Hat または CentOS です。

Q-43： 認証・管理サーバのサイズやタイプは選択可能ですか？

システム規模やご要望に応じて、デスクトップ型、タワー型、ラックマウント型など様々なサイズやタイプの認証・管理サーバを提供いたします。最小構成システム（同時10ユーザー使用まで）では、ブロードバンドルータほどの大きさの超小型サーバをご利用いただけますので、設置場所の制約をそれほど気にすることなく手軽に導入いただけます。

Q-44: 導入までの大まか手順はどのようになりますか？

お客様の要求条件を確認・把握の後、要求条件に合うシステムを概算費用と併せて提案いたします。正式な見積りは、お客様が希望するシステム要件を最終確認、現地調査などによって認証・管理サーバの設置場所のネットワーク環境などを確認したのち、提出いたします。

Q-45： システム導入にはどれほどの期間を要しますか？

ご注文から納入までに要する期間は、最小構成のシステムの場合で概ね7日～10日、数百ユーザ規模のシステムの場合で概ね1ヶ月～2か月が見込まれます。なお、システム要件によって、システム導入完了までのリードタイムが異なりますので、ご相談ください。

Q-46： 評価・検証のための試用は可能ですか？

原則として無償トライアルのご要望にお応えしています。SmartInterwork の評価・検証を目的として試用を希望されるお客様には、ご相談のうえ一定期間に限って機器をお貸しします。ご希望の場合はご相談ください。

2013.11.1

お問い合わせ先 株式会社インターコア
info@intercore.co.jp